議事録 2019/05/24 著者

議事録

1 T_EX について

書き方はネットや本 [1] を参照.

2 図の挿入

図1を挿入する場合は次のように書く.

```
\begin{figure}[h]
\begin{center}
\includegraphics[width=0.9\textwidth]{AIT_logo.png}
\caption{図のキャプションは下 }
% label は caption の直後に書く
\label{fig:sample_fig}
\end{figure}
```



図1 図のキャプションは下

議事録 2019/05/24 著者

3 表の挿入

表1を入れる参考として物理のかぎしっぽ[2]を挙げる.

表1 表のキャプションは上

イオン粒子	エネルギー	最大取り出し電流
陽子	$17.0\mathrm{MeV}$	$50\mu\mathrm{A}$
	$4.25\mathrm{MeV}$	$50\mu\mathrm{A}$
重陽子	$10.0\mathrm{MeV}$	$50\mu\mathrm{A}$
⁴ He	$20.0\mathrm{MeV}$	$20\mu\mathrm{A}$
³ He	$26.0\mathrm{MeV}$	$20\mu\mathrm{A}$

3.1 参考文献の挿入

TeX の使い方 [1] のように参考文献を挿入する方法は下記の通り.

```
TeX の使い方\cite{TeX}
```

4 箇条書き

箇条書きの例は次の通り.

```
\begin{itemize}
\item{議事録担当( ) }
\item{話題提供( ) }
\item{報告 }
\item{セミナー }
\item{次回 }
\end{itemize}
```

議事録 2019/05/24 著者

- 議事録担当()
- 話題提供()
- 報告
- ・セミナー
- 次回

5 プログラムソースを書く

Python のプログラムソースを書く場合は次のように書く.

```
\begin{lstlisting}[language = Python]
#/usr/bin/env python
h = {}
h['hoge'] = 1
h['fuga'] = 2
print(h['hoge']+h['fuga'])

#/usr/bin/env python
h = {}
h['hoge'] = 1
h['fuga'] = 2
print(h['hoge']+h['fuga'])
```

6 参考文献の挿入について

bibtex を利用する場合は、ptex2pdf を実行する前に pbibtex を実行する. vscode の TEX エクステンションで 'pbibtex + ptex2pdf を選択すること.

参考文献

- [1] 奥村晴彦, 黒木裕介. 『IATFX 2ε 美文書作成入門』第 7 版. 技術評論社, 2017.
- [2] 物理のかぎしっぽ―表組み. http://hooktail.org/computer/index.php?%C9%BD%C1%C8%A4%DF.